

老若男女、各分野で活躍するさまざまな「四日市人」を取材して、その人の言葉で四日市の魅力などを読者に伝えるコーナーです。

■CTY「ちゃんねるよっかいち」でも紹介します。
 放送日時：2月11日～3月10日 9:00・20:30
 ■FMよっかいち「よっかいち わいわい人探訪！」にも出演していただいています。
 放送日時：2月の日曜日 8:54・14:54

○自動車整備のきっかけ

中学生のときは、白バイ隊員（警察官）になりたいと思っていました。それで、車両トラブルに対応できることが必要と考え、自動車科を選びました。

○優勝したときの気持ち

女子初の出場者であることや卒業後の進路のことなど、この大会に賭ける思いが強かったので、大会当日はかなりプレッシャーがありました。自分のできることを精一杯やろうと思いました。

ミスしたところもあったので、自分としては優勝できるとは思っていませんでした。優勝した瞬間は、先生や友人、家族に良い報告ができると思い、わくわくした気持ちになりました。

○ものづくりコンテストとの出会い

ものづくりコンテストは、私の高校生活の中で大きなものとなりました。それは、学ぶ楽しさを知ることができたからです。大会に向けて専門知識を理解できるようになると、楽しくなり、自分からどんどん学びたい気持ちになりました。また、課題の作業時間を短縮できたときは達成感もありました。

何より、この大会に向けて指導していただいた小宮先生には大変感謝しています。➤



小宮先生と田村さん

田村美結さん

第15回高校生ものづくりコンテスト全国大会の自動車整備部門で、女子として初めて優勝した四日市工業高等学校自動車科3年の田村美結さんにお話を聞きました。

高校生ものづくりコンテスト全国大会とは

全国の工業高校生が技術や技能を競う大会。「ものづくり甲子園」とも呼ばれる大会で、電気工事や化学分析など7つの部門で実施されます。

自動車整備部門では、3級自動車整備士の学科や、実技としてエンジン部品の測定、故障したエンジンを修理する課題などに取り組みます。田村さんは作業の確実性を強みに東海ブロック予選を突破し、東海ブロック代表として全国大会に出場。見事、女子初の優勝を果たしました。



先生は、私の気持ちを尊重して指導してくださいました。その指導のおかげで、学ぶ楽しさをはじめとしたさまざまな貴重な経験ができたと思っています。

○将来は工業高校の教員として学ぶ楽しさを伝えたい

高校卒業後は、大学に進学して、工業高校の教員になることを目指します。

今度は、私が生徒を指導することで、生徒に私が経験した学ぶ楽しさを知ってもらいたいと思っています。

